

授業科目名	ジェンダー論			担当教員	力武 由美	
開講年次	3 年前期	セメスター	1		時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	選択	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	社会的歴史的に形成されたジェンダー概念を理解し、政治・経済・教育・文化・家族など社会のあらゆる分野に潜むジェンダーポリティクスを分析する力を身に付ける。					
到達目標	1. ジェンダーの視点を用いて、看護をはじめ社会の様々な分野に潜むジェンダー問題に気づくことができる。 2. ジェンダーに内包されたポリティクスを読み解くことができる。 3. ジェンダー問題の解決のために、国際的な視野に立った分析・考察・発表ができる。 4. ジェンダー統計を読み解くことができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	最も見えにくい差別といわれる「ジェンダー」は、個人の尊厳を傷つける歴史的構築物であり、社会のあらゆる分野に通底し、構造化された差別である。本授業では、「人間の尊厳と権利を擁護する」という観点から、ジェンダーに孕む問題性を、理論を踏まえ、さまざまな資料や指標などの根拠に基づく理解を通して、ジェンダー問題の解決をするための方策を探る学際的な科目である。したがって、本科目は、「人間の尊厳と権利を擁護する力」を高め、ジェンダーという人為的な性別役割を払拭する作業を通して、エビデンスに基づき、自己の観察眼や洞察力を高める「自己教育力」を涵養する科目に位置付けられる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎	○				
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	セックス / ジェンダー / セクシュアリティの定義 教科書第 1 章 女であることの損・得、男であることの損・得（発表）第 1 章の内容報告と関連事例の提示（討議）看護とセックス / ジェンダー / セクシュアリティ	講義・演習	予習：看護の分野のジェンダー問題だと思われる課題を洗い出し、他者に説明できる程度のメモを作成する。 復習：授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を見抜く訓練を行う。		60－90 分	力武
2	教科書第 2 章 作られる〈男らしさ〉〈女らしさ〉 教科書第 3 章 ジェンダーに敏感な教育のために 発表：第 2, 3 章の内容報告と関連事例の提示 討議：看護教育とジェンダー問題	講義・演習	予習：教育の分野のジェンダー問題だと思われる課題を洗い出し、他者に説明できる程度のメモを作成する。 復習：授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を見抜く訓練を行う。		60－90 分	力武
3	教科書第 4 章 恋愛の女性学・男性学 教科書第 5 章 ジェンダーと労働 発表：第 4, 5 章の内容報告と関連事例の提示 討議：看護とジェンダー統計	講義・演習	予習：労働の分野のジェンダー格差を示す国内外のデータを、それぞれ 1 つ探し、その統計の読み方を他者に説明できるようにする。 復習：授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を見抜く訓練を行う。		60－90 分	力武

4	教科書第6章 多様な家族に向かつて 教科書第7章 育児はだれのもの 発表：第6, 7章の内容報告と関連事例の提示 討議：看護と家族・育児・介護	講義・演習	予習：家族と子育てをめぐる状況と社会保障制度に関する資料を探し、他者に内容を説明できるようにする。 復習：授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を見抜く訓練を行う。	60 - 90 分	力武
5	教科書第8章 国際化のなかの女性問題・男性問題 発表：第6, 7章の内容報告と関連事例の提示 討議：看護と国際化	講義・演習	予習：国際的な文脈のなかでのジェンダー問題について、何か1つ事例を探し、他者に説明できるようにする。 復習：授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を見抜く訓練を行う。	60 - 90 分	力武
6	教科書第9章 男女共同参画の見取り図 発表：第9章の内容報告と関連事例の提示 討議：看護とジェンダー平等政策	講義・演習	予習：世界のジェンダー課題の解決と平和に向けた国連および国内の取り組みについて調べ、他者に説明できるようにメモを作成する。 復習：授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を見抜く訓練を行う。	60 - 90 分	力武
7	教科書コラムと特講「男性学」 発表：コラム・特講「男性学」の内容報告と関連事例の提示 討議：看護と男性学	講義・演習	予習：コラムと特講を読んで、ジェンダーの視点から、自分の見解を準備してくる。 復習：授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を見抜く訓練を行う。	60 - 90 分	力武
8	発表・討議：各自のブックレポート発表に基づく討議 フィードバック：試験とレポートにみられる成果と不十分な点について説明、およびジェンダーの視点をライフスキルズにすることの意義について（「個人的なことは政治的なこと」）	講義・演習	予習：ブックレポート作成。 復習：これまでの授業内容に基づき、メディア表現を含め、自分の身の回りの事象に潜むジェンダー問題を焙り出す視点を他者に説明できるようにする。	60 - 90 分	力武
先行履修科目					
テキスト		伊藤公雄他：女性学・男性学—ジェンダー論入門（3版）、有斐閣、2019、 担当者が配布する資料			
参考文献		授業の初回に、課題のブックレポート用の図書を含め、ジェンダー研究の古典から最新の研究成果をあらわした文献を紹介する。 国内外のタイムリーなジェンダー問題関連資料を随時、配布する。			
評価方法		教科書担当章の内容のレポート、授業中の議論への積極的な参加 40% レポートの完成度 30%、学期末試験 30%			
教員等の実務経験		自治体の研究機関でジェンダー研究を行い、研究成果を叢書出版という形で発表し、ジェンダーに関する様々な講演をしてきた経験を持つ教員が講義をします。			
メッセージ		日常の様々な場面での出来事やメディア表現などをジェンダーの視点で問い直し、隠れたジェンダー問題やまなざしを見抜く視点を身に付けて、ライフスキルズとして使えるようになってください。 ジェンダー統計を読み解き、必要かつ適切な場では統計を使用できる力を付けてください。			